

## 2024年度 第二回 日産愛知自動車大学校 教育課程編成委員会 会議報告書

1. 開催日時 2025年2月28日(金) 13:30-16:00

2. 開催場所 日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

## 3. 出席者

(学校外委員)	企業代表	新名 尚隆 様	日産自動車株式会社 グローバルサービスエンジニアリング部
	団体代表	正治 博史 様	愛知県自動車車体整備協同組合 専務理事
	団体代表	西 和幸 様	愛知県自動車整備振興会 教育部 次長
	企業代表	小出 学 様	日産東海テクノ株式会社 工場長
	企業代表	山口 純丙 様	日産プリンス名古屋販売株式会社 課長代理
	企業代表	内山 晃 様	愛知日産自動車株式会社 課長
	企業代表	稲垣 俊夫 様	日産サービスセンタ株式会社 次長
	(学校内委員)	学校長	松川 健一
部長代理		鈴木 貴久	教育部
課長		武内 健二	教育部、学務部
課長代理		中務 健之	教育部 一級科
課長代理		坂口 正憲	全科1, 2年生
統括		上谷 晃一	カーボディマスター科
(学校内委員外)	課長代理	中川 安行	募集・就職担当

## 4. 議題

・ご挨拶

1. 前回の意見の受け止め
2. 日産資格試験結果報告
3. 国家試験学習進捗状況
4. ICT教育の取り組み
5. 新資格制度について
6. 26/4就職希望状況と25/4入学者数
7. Dr. Kプロジェクト、ラリージャパン
8. 一級4年生の卒業研究について
9. カーボディ・マスター科の取り組み
10. 教育課程へのご意見
11. 東京オートサロン出展車両の見学

## 5. 議論

- 1) 意見交換と質疑応答 いただいた貴重な意見・指摘については、今後の授業に反映していく。

種別	項目	所属	質問者	主な意見
1	前回の意見の受け止め	説明内容		<p>・留学生の日本語教育について以下のご意見をいただいた。</p> <p>&lt;プリンス名古屋 山口様よりご意見&gt;</p> <p>・社内で日本語能力検定の模試を実施し、結果で各個人のレベルを把握している。提案として、実施には工数もかかるが、その日本語教育を実施していただきたい。</p> <p>&lt;愛知日産 内山様よりご意見&gt;</p> <p>・学校にお願いしたい事として、学内で日本語を使う事が一番と考える。方法は学校にお任せするが、人数も多いため、以前行っていた日本語学校の先生にお任せする事も検討に値すると考える。</p> <p>【弊校回答】</p> <p>・現状は、2年間で国家二級のカリキュラムを遂行していくことで殆どの時間は、消化されている。またコロナ過の中で外部講師による日本語教育を中止したものの、現在ではクロームブックの導入もあり、学生預り金(学費とは別の費用)がかなり圧迫されている事から、費用の捻出にも限界がある。</p> <p>・そこで、学内で新任教員を中心にプロジェクト(※1)を立ち上げ、放課後等を利用し、出来る限りの日本語能力の向上に努めている。また2026年度には、3年課程の国際科を立ち上げ、そのカリキュラムについては、再度、外部講師による日本語教育を導入していく予定。(国際科パンフレットを披露)</p> <p>(※1)留学生スキルアッププロジェクト 資格試験(国家二級、日産3級)の問題文章に特化した日本語特訓内容について報告。 意欲により成績差がある。</p>
		愛知日産	内山 様	<p>・弊社でも意欲の差による問題は同じ状況にある。本当に整備士をやりたいのかが疑問。 →入学試験時に確認するが、入学後、個々に差がでるのは事実。 →国際科(他校留学生クラス)では意欲が強い状況。</p>
		プリンス名古屋	山口 様	<p>・国際科のパンフレットでは「N2レベルが望ましい」とあるが、現在何%在籍しているのか。 →1年生で80人在籍中、約10%程度。N3は不明。</p> <p>・社内で日本語力試験を行っているが、レベルが下がる中、聴解力だけで見ると3年目はN2レベルと会話力はアップしている。学校でも日本語を使わなくなりレベルが下がっているのではないかと。日本語での会話機会をお願いしたい。また国際科には期待したい。 →休憩時間で自国語を使う学生のレベルが下がっている学生もいることは事実。 →国際科では日本語学校講師による授業を組み込みN2を目指す。 →多国籍在籍により、共通会話は日本語となる。</p>
2	日産資格試験結果報告	説明内容		<p>・2024年度の日産資格結果を報告。 →すべての種別(テクニカルスタッフ2級3級、テクニカルアドバイザー3級、車体士3級、塗装士3級)において全員合格。</p>
3	国家試験学習進捗状況	説明内容		<p>・国家資格試験に向けた統一模擬試験結果から、進捗状況、及び取り組みを報告。</p> <p>&lt;二級整備士&gt;</p> <p>→全体として昨年度より少し良い状況で推移。今年度の特徴として自主的に取り組む日本人が多い。 →低位留学生は少人数グループで対応。</p> <p>&lt;一級整備士&gt;</p> <p>→12月までは昨年並みで推移したが、年明けから下がっている。 →中位層の人数が多いため、理解度を上げる指導を行っている。 →昨年度より導入した早期特訓を踏襲。ランク別で指導。</p>
4	ICT教育の取り組み	説明内容		<p>・オープンキャンパス施設案内時のクロームブック(PC)活用 →少人数グループでの施設案内時、以前は口頭説明だった実習の様子や教材を、動画や画像で紹介。</p>

5	新資格制度について	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新整備士制度の新テキストによるカリキュラムがほぼ完成した。</li> <li>→新3級テキストを1年次12月までに組み込み、新2級テキストは1年次1月からと前倒して組み込んだ。</li> <li>理由は国家試験日が2週間早まることを勘案。</li> </ul>
		整備振興会	西 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興会としては令和8年後期から講習開催だが、国家試験の範囲が広がることが予想される。</li> <li>練習問題などはどのように準備されるのか。</li> <li>→ジーゼルガソリンが統合され、2輪が組み込まれたことによって比率は読めないが、過去問題を参考に次年度に作成する予定。</li> <li>また、製図が復活したため、かなり昔の問題を組み込むことになる。</li> <li>・教育授業時間は今まで通りか。</li> <li>→削除された項目もあり、法定時間内に組み込んだ。</li> <li>→追加された2輪は実習で教える予定。</li> </ul>
6	26/4就職希望状況と25/4入学者数	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;2026年4月就職対象者の就職希望先状況&gt;</li> <li>・日産販売会社: 84.3%</li> <li>・日産関連企業: 2.3%</li> <li>・他メーカー等: 13.3%</li> <li>&lt;2025年4月入学者&gt;</li> <li>・県別、及び課程別入学者状況を報告</li> </ul>
		整備振興会	西 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の入学者状況はどのくらいか。</li> <li>→次年度の日本人女性は数名。留学生は約10名。</li> <li>・日本語学校へ整備職学校のPRなどは行うのか。</li> <li>→日本語学校より纏まってる来校見学を実施。日本語学校の先生にも同行いただいている。</li> </ul>
		プリンス名古屋	山口 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域での出身国の違いなどはあるか。</li> <li>→姉妹校で比率には特徴がある。日本語学校や地域コミュニティの影響により纏まる傾向がある。</li> <li>・留学生も他校と競争する現状とのことだが、人気の業種は何かあるのか。</li> <li>→自動車整備は人気がある。他には介護も人気と聞いている。</li> <li>→男性は自動車整備が人気だが、関東方面の専門学校が愛知県留学生を獲得に来る。</li> </ul>
	社会貢献活動		説明内容	
		日産自動車	新名 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日産自動車でも「日産わくわくエコスクール」と称して小学校へ出張授業を行っている。</li> </ul>
7	Dr. Kプロジェクト、ラリージャパン	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;Dr. Kプロジェクト&gt;</li> <li>・2024年10月5日(土)八丈島にて学生による安心無料点検を開催。(昨年度に続き、2回目の開催報告)</li> <li>・今回は日産5校連合にて開催。国土交通省からも見学を受け、各メディアの取材も受ける。</li> <li>・新しいプログラムとして、現地八丈高校での交流イベントを開催。</li> <li>・無料点検は前回同様好評で、想定数を超える来場台数となった。アンケートも高評価。</li> <li>・参加した学生の満足度も高い。</li> <li>&lt;ラリージャパン&gt;</li> <li>・2024年11月開催のラリージャパンに、マスターメカニック科の学生3名が正規メカニックとして参加。</li> <li>・ドライバーは自動車評論家の国沢氏、監督はベストカー編集長の塩川氏のチーム。</li> <li>・車両不具合により完走できなかったが、学生たちは良い経験ができ満足度の高い物となった。</li> <li>・2025年度も参加予定。</li> </ul>
8	一級4年生の卒業研究について	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;Ene-1チャレンジ&gt;</li> <li>・一級4年生卒業研究授業の題材としてEne-1チャレンジに参加する。</li> <li>・準備のため2024年7月の大会に一級3年生が視察見学した。</li> <li>・3月末の車両完成を目指して、現在制作に励んでいる。</li> <li>※Ene-1チャレンジ: 乾電池を使用したエコカーレース</li> <li>&lt;日産校として質の高い教育の確立&gt;</li> <li>・EVリーダースhipとして「電動パワートレイン・バッテリー講座」を一級4年授業に組み込む。</li> <li>・ADAS(先進運転支援システム)において、日産自動車との連携授業を一級3、4年に組み込む。</li> <li>&lt;日産自動車による最新整備授業(一級4年生にトリアル実施)&gt;</li> <li>・AR技術を使った整備士サポートツール</li> <li>・VR技術を使った安全教育</li> </ul>
		愛知日産	内山 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3、4年生対象とのことだが、日産校の優位性を持たせるためにも、できれば1年生から実施できる内容を増やしてほしい。</li> <li>・車種限定の事もあり整備士サポートツールはまだ現場では普及していない。</li> <li>記録簿の記入機能も予定されているが、現場の意見を吸い上げている段階。</li> <li>→1年次から実施のご意見を踏まえ、導入検討していく。</li> </ul>
		東海テクノ	小出 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備士サポートツールは車体整備分野ではまだ導入されていないが、新型車の対応には有効と考える。</li> </ul>
		日産自動車	新名 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備士サポートツールの車体整備分野適応は、使う方の意見を伺いながら開発中。</li> </ul>
		プリンス名古屋	山口 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売会社においてバッテリー交換作業は限定された店舗、及び特定のスタッフにて実施。</li> <li>EV全車種対応。基本の作業は共通だが、詳細手順や特殊工具は異なる。</li> <li>・会社全体としての作業頻度は少ない。他の強電部分整備も限られたスタッフが行う。</li> <li>・基礎として電気自動車特有の点検項目がある。またガソリン車にはあるが電気自動車には無い点検項目もある。</li> </ul>
		愛知日産	内山 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業場所条件もあり愛知日産では本社に集約して実施。</li> <li>・どこまでの分解作業を行うのかは不具合内容により異なる。</li> <li>・生死に関わるため、必ず必要になることは基礎講座で習う高電圧部の見極め。</li> <li>・強電部分の脱着作業は「技術講座」の受講者のみ。またバッテリー脱着は別の「バッテリー講座」受講者のみとなる。</li> <li>・バッテリー脱着など、普段やれないことを行うのが学校であり、授業として取り入れることは良いと考える。</li> </ul>

9	カーボディ・マスター科の 取組み	説明内容		<p>&lt;カーボディマスター科 国家試験対策の学習進捗を報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験において平均点より低い学生が居たが、直近では良好。</li> <li>・低位者の学習を例年より1か月早め、12月より実施。</li> <li>・次年度、電子制御装置テキスト内容が国家試験に組み込まれることを想定して授業を行っていく。</li> </ul> <p>&lt;カーボディマスター科進学前の2年生にBP業種の説明会を実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これにより板金塗装業種への希望者が6名/12名中となった。</li> </ul> <p>&lt;就職前板金トレーニング&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板金塗装部門内定者向けに、個々に合わせた板金作業トレーニングを実施</li> </ul> <p>&lt;記録簿記入トレーニング&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年目となるこの1年間は車体整備授業のみであるため、1、2年次の復習として特定整備記録簿の書き方を練習した。</li> </ul> <p>&lt;特定整備作業主任者講習の実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内にて講習を行い、3月7日に諮問試験の予定。</li> </ul>
		車体整備 協同組合	正治 様	・板金作業した内容に関して、日本自動車車体整備協同組合連合会の車体整備記録簿を参考に使っていただきたい。
		東海テクノ	小出 様	・2年生への板金業種説明会、ありがとうございます。 ・特定整備において、法律順守と安全作業の部分をしっかり理解していただきたい。
		愛知日産	内山 様	・現在、板金塗装作業においても、ガラス交換やバンパ交換などで記録簿を書くことが必要となっている。 ・カーボディマスター科の学生にその書き方も少し教えておいてほしい。
10	教育課程へのご意見	愛知日産	内山 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社の外国籍スタッフの取材ありがとうございました。</li> <li>・報告として、先日、外国籍卒業生スタッフでTS1級が1名が合格。</li> <li>・また、日本語に苦勞する中、TA1級でも別の1名が合格。</li> <li>→留学生で活躍する整備士に密着したビデオを作成し、現地学校や日本語学校へ将来像として事例紹介している。</li> <li>今後も日本で活躍する留学生のロールモデルを取り上げて行く。</li> </ul>
11	東京オートサロン 出展車両の見学	車両見学		・出展車両を見学いただいた。